

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画書の利用者、家族の意向欄ときちんと確認していく。	課題の把握をし、意向に沿ったケアプランを作成していく。	ケアプラン担当者を中心に、モニタリングを充分に行い、家族の来所時や電話で意向確認を徹底して記入していく。	3ヶ月
2	2	地域とのつきあいを深めていく具体的な取組みが出来ていない。	小さなことから具体的な取組みを継続していく。	回覧板を回していく。 グループホーム主催の行事も企画して地域の方との交流をする。	3ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアのなかで、玄園の施設をしない目標に取り組む。	鍵をかける方向に少し近づけていく。	その日の利用者・取組の状態により施設の時間を短縮していく。リスクに伴って個人・事案にかなうことを理解していく。	3ヶ月
4	35	火災の災害に対応できるように、自主訓練の回数と必要あり。	夜間も想定して対応できるようにする。	全員が体験していくために、月1回の取組会議も活用し、訓練回数を多くしていく。	3ヶ月
5	45	入浴を楽にする支援のなかで、個人の希望を少しでも受け入れていく必要あり。	利用者の希望を少しでも実現させていく。	ケア担当者を中心に利用者の遠慮のない本音を聞き出していく。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。